

終末期ケア研修Ⅲ要項 終末期患者を支えるケア

「グリーフケア・家族看護・看護師自身のケア」終末期におけるウェルネスを支える看護を考える

2026.09.09 看護局

## 1. 目的

終末期にある患者とその家族は、死を前にさまざまな喪失を経験しそれぞれ異なる思いや反応を示します。その人が置かれている状況や、喪失、価値観、関係性に目を向け予期悲嘆から看取り、死別後のグリーフまでを一連の過程として捉え、患者・家族それぞれの思いを尊重しながら、看護師に求められる関わりについて考えましょう。患者・家族のケアとともに、看取りに関わる看護師自身の感情や経験を振り返り、自分自身をケアしながら看護実践を継続するための方法について考えましょう。

## 2. 目標

研修終了後、受講者が以下について考え、実践につなげられることを目指します

- ① 終末期にある患者・家族の反応を受容の枠だけで評価せず、その背景にある思いや喪失を捉えることができる
- ② 患者・家族それぞれに生じる予期悲嘆について理解できる
- ③ 患者と家族の思いが異なる場合にも、それぞれの思いを尊重して看護する視点を持つことができる
- ④ 看取り前後の患者・家族への具体的な看護と、死別後のグリーフケアについて考えることができる。
- ⑤ 看取りに関わる看護師自身の感情を振り返り、必要なケアや支援について考えることができる

## 3. 場所：稲沢市民病院 2階講堂

## 4. 日時・時間：2026年12月9日（水）17：30～18：30（60分）

## 5. 内容：ワークを含む講義

## 6. 対象：看護職員・補助者の参加希望者／地域の看護・介護職員

## 7. 担当：看護局 がん性疼痛看護認定看護師